

須賀の新規営農者農地の状況

家庭菜園の「農地の貸し借り」の紹介を始めています。



昨年から新規営農者の参入実態のご紹介をしておりますが、農地中間管理機構(みどり公社)を通じて2.45ha(2.45町歩)が認定営農者によって活用されています。須賀の農地は10.7ha(農業振興区域:7.3ha、生産緑地:3.4ha、左記以外は除く)高齢化や後継者問題を抱えた農家の実態から法律によって農業経営の基盤強化と集積が可能となっています。須賀では市町村の集積計画のもとに、農地中間管理機構(みどり公社)によって進められてきました。

地図上の農地は農家の貸農地の申出によってみどり公社が借り上げた後、認定営農者に貸し出された農地です。現在3認定営農者がその受け皿となって農地を活用しています。この結果、これまで長く放置された休耕農地も新たに活用されています。このように望ましい地域環境の実現を進めています。

一方、農地中間管理機構を通じても借り手の見つけにくい農地(市街化農地や機械進入路の無い農地等)が点在しています。このことから地域住民への家庭菜園用農地として、昨年より貸し借

りの情報発信を始めました。この春から住民の方が家庭菜園を始められています。この活動は当面引き続き続けたいと考えています。

家庭菜園の借り受けを希望される方は町会長を通じて申し出てください。来年度(来春スタート)の貸借りの申出の受付は11月末までとなっています。(尚、希望条件にそえない場合がありますのでご承知ください。)

家庭菜園用農地の紹介は下記のように行います

1. 農地所有者からの「貸農地希望の申し入れ書」の提出
2. 住民の方の家庭菜園農地の「借入希望申し入れ書」の提出(受付は須賀町会)
3. 「須賀農空間づくり協議会」にて、貸農地情報と借り農地情報の照合
4. 当事者(農家と借入れ希望者)の話し合い
5. 当事者で利用契約書締結

伏山台幼稚園とびっく



市内幼稚園交流の為に
かわいいバスを利用しています



小学校と同じ給食が始まりました。

情報誌すが編集委員

編集長:井上利夫
 発行者:連合町会長 田中義記
 編集委員:谷口均、松永勉、高田寛教
 阪井ひとみ、林澄子、楓綾子
 編集委員を募集しています。



情報誌

すが

須賀

発行
 令和3年9月20日
 須賀連合町会事務局
 編集責任者 井上利夫
 発行責任者 田中義記
 須賀2丁目10-30
 TEL:28-1997

須賀町|住民数 2,644人
 8月現在|世帯数 1,272世帯

ごあいさつ

コロナ禍については、皆さん方がよくご存じの通り推移していますが特に最近では、インドや南米の変異種の脅威が増しています。そしてワクチン未接種の方に流行しています。若年者のワクチン接種はもう少し先になりそうですが、引き続きの感染予防対策が肝要です。

そんな中、今年度も「盆踊り」「秋祭り」が自粛せざるを得ません。もう少しの辛抱、地域住民の不安要因を取り除くためにも密そのものの形である伝統行事の断念は誠につらいものですが、諸環境をお汲み取り頂きご理解のほどお願いします。

富田林市で取り組まれている事業は2つあります。一つは、富田林市福祉計画(富田林市福祉活動計画)は、行政機関と地域で「増進型地域福祉社会」を目指すものです。現在第3期活動計画の最終年で令和4年度から5年間で第4期

須賀連合町会長 田中義記

が展開されます。須賀はひとつの理念のもと皆さん方と一緒に考えていきたいと思えます。

もう一つは、「SDGs(持続可能な開発目標)未来富田林市です」2030年度までに策定し実践するもの「誰一人として取り残さない」理念のもと環境や、ジェンダーフリー等の課題他未来指向の地域社会の醸成を目指すこととなります。



錦織神社改元事業完成「奉告祭」



新設された駐車場と大鳥居

令和元年4月から錦織神社の氏子崇敬者にご寄付をいただき工事を進めておりました大鳥居新設・駐車場新設・本殿の塗復元の事業がこのほど完成し、9月5日に完成奉告祭を執り行いました。当日は、氏子町会の町会長、氏子総代と神社・工事関係者が出席のもと厳粛に行われました。

新設なった大鳥居は高さ5メートルの豪壮な佇まいで大鳥居から眺める神社本殿は重要文化財にふさわしく厳かな眺望です。参拝者は大鳥居横の神社専用駐車場に車を止めて大鳥居をくぐり参道を歩いて参拝する本来の形に戻りました。大鳥居は最近の安全基準に則って建造されており地面深く基礎が築かれています。大鳥居をくぐると左右の灯籠にそって参道を歩き200メートルほど歩くと本殿のある社殿につきます。

今後は、本殿を含め維持修復が大切になってきます。孫子の時代まで地域の安寧と食物への感謝、安全な日々を過ごせるようにと願ってやみません。

済生会 富田林病院建替工事 令和3年秋頃全館完成予定

建物の規模は、地上6階、地下1階、延べ床面積約21,000平方メートル、病床数は260床です。

新病院については、済生会が病院開設者となり、救急医療や地域包括ケア、お産センター、小児医療など、総合的な医療を提供し、市民の皆さんの安心安全を支え信頼される公的病院としての役割を担ってまいります。(富田林市HPより)

※現在、一部診療科あり完成時には全診療科診療



隣接町会長、新人学校長・教頭紹介

隣接町会長

錦織 総代会長 阿部 吉彰
 伏山 伏山町会長 阪本 昭浩
 聖ヶ丘町会長 貴島 浩
 松ヶ丘 連合町会長 玉崎 和美
 鳴尾 鳴尾町会長 須田 宗弘

新任学校長・教頭先生

金剛中学校 教頭 岩井啓子 川西小より
 伏山台小学校 校長 西山正人 久野喜台小より



須賀町内 クラブ・教室 紹介シリーズ② 「書道教室」

情報誌すがでは、町内のクラブ・教室シリーズを掲載します。2回目は、「書道教室」です。



最近、字を書くことが少なくなっています。案内状や年賀状等パソコンで作成する機会が増えています。このことは、字は読めるけれど、書けないという人が増えています。

又、書くことが減ってきた今、正しい書き順を間違えるようになってきています。字は書き順で、正しく書けるようになっており、習字はまさしく教科書です。

習字は、生徒さんの現状レベルがまちまちですが教室では、初心者から中級者まで基本から幅広くの方が学んでおられます。

開校日	第1・3週の月曜日 19時～と土曜日 14時～
会場	須賀会館
受講料	1ヶ月 ¥1,500
連絡先	講師：筒井 桂子先生(連絡先：井上レイ子 ☎0721-53-2992) お気軽にお問合せください

須賀川柳



※オリパラも畑の我も玉の汗
 ※早苗待つ蛙ゲロゲロ応援歌
 作..こいさん

※物忘れ笑いあつてる時が花
 ※安売りの詰め放題に無駄も詰め
 作..すみれ

※つばみでもいつかなります大輪に
 ※百歳の笑顔のしわの温かさ
 作..案山子

※ランドセル安全背負い登下校
 ※見守りで孫思い出し出る笑顔
 作..河内のおっさん

※消しゴムで消せない過去もいま白紙
 ※癒やされる明るい声と愛嬌に
 作..やすえ

※直売所色販やかに夏野菜
 ※須賀の田にすくすく育つ稲の苗
 作..デコボン

※なあコナこころで消えてもいいころな
 ※オリパラや拍手して見るテレビ前
 作..三石

※天知るや行きつ戻りつ古希の坂
 ※アジサイは雨にたたかれ咲く覚悟
 作..はなみずき

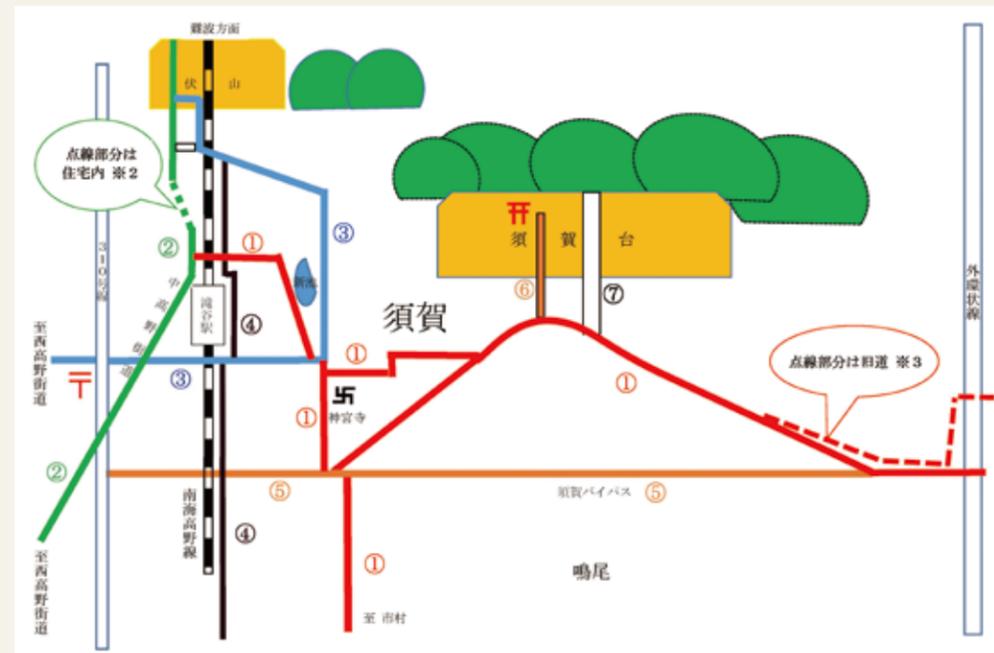
川柳募集
 須賀川柳のコーナー 2回目となりました。みんなで五・七・五。子どもさんの作品も大歓迎です。情報誌発行(4月、9月)の2ヶ月前2月末、7月末を締切と致します。投稿方法は、右記参照してください。多くのご応募お待ちしております。

応募方法

- 裏表紙の編集委員へお渡しください
- E-mail で, suga.hensyu@gmail.com へ (右記 QR コードをスマホで読み込んで下さい)



コラム・須賀の歴史 須賀の街道(道)の歴史



前号(11号)で明治2年に作成された錦織新田(須賀)の「絵図」を紹介しました。今号では須賀の街道(道)などを紹介します。

須賀は江戸中期に「錦織新田」として開墾されました。当時からあったと思われる歴史的な道も残っています。高野山への参詣道(中高野街道)も須賀内を通っています。社会変化に伴い、道が拡張されたり、新たな道が開通して現在に至っています。

<歴史的な道>

- ① 滝谷道(須賀-錦織-滝谷不動尊)【大正9年府道指定】
- 旧伏山道(須賀-伏山)【昭和25年市道指定】
- 市村道(須賀-鳴尾-市村)

滝谷道は江戸中期、錦織新田の開墾時からある古い街道です。錦織新田(須賀)から錦織を通り滝谷不動尊への参詣道です(地図①の点線部分は旧道※3)。また、伏山新田(伏山)へは新池を通り、中高野街道に抜けて行く旧道です。この旧道は江戸中期から伏山との交流が当時からあったと思われます。さらに、錦織新田の中心街(神宮寺付近)から鳴尾(ドンド)から市村新田(市村)への行く道も江戸時代と思われます。

- ② 中高野街道(大阪平野-狭山-伏山-須賀-河内長野)【大正12年府道指定】

中高野街道は平野(大阪)※1を起点として、大阪狭山市、富田林市(伏山、須賀)※2から河内長野市まで続いています。須賀では滝谷駅西側を通って、松ヶ丘-楠町(河内長野市)で西高野街道に合流。「三日市宿」(河内長野市三日市町)を通って高野山へと続いています。これらの街道は高野山への参詣道として利用され、多くの参詣者が通った道です。

- ③ 伏山道(須賀-伏山)・松ヶ丘道(須賀-松ヶ丘)【大正12年府道指定】

須賀(神宮寺前)から伏山方面に行く道です。明治後期に開通しました。江戸時代は新池から中高野街道を経由して伏山への道を利用していました。

須賀から松ヶ丘へ抜ける道は明治後期にできたようです。

松ヶ丘からは西高野街道(一部)を通り、上神谷妙見(塚)まで続いています。

- ④ 滝谷駅前道(須賀-鳴尾)【昭和25年市道指定】

滝谷駅は明治31年に開設され、滝谷不動尊参詣者の乗降駅となっていました。滝谷駅南側三叉路に道標「右 上神谷妙見 左 滝谷不動 大正二年五月」が建っています。滝谷駅東の線路沿い道は、滝谷駅の開設(明治31年)に併せて開通しました。その後、伏山や鳴尾の延長道は大正時代に開通、滝谷駅に向かう道として利用されたと思われる。

<戦後に開通した道>

戦後、町や道路の整備開発によって須賀周辺道も大きく変わってきています。その道を紹介します。

- ⑤ 須賀バイパス道【平成5年府道指定】

外環状線の開通(昭和57年)後、平成5年に須賀バイパスが府道として開通しました。これまで、外環「須賀南」交差点から須賀内を通行していましたが、バイパス開通により通行車は激減しました。「大阪府道38号線富田林線と泉大津線」が正式名です。

<その他>

- ⑥ 須賀神社への参詣道【昭和48年市道指定】

菅原神社(天満宮社)は、明治41年に合祀(錦織神社へ)されるまで中腹に祀られていました。その参詣道が明治の絵図にも記載されています。参詣道は「錦織新田」が開墾された江戸時代に作られました。

- ⑧ 須賀台(通称 しろさか)【昭和55年市道指定】

須賀台中央の道は、昭和40年代に住宅開発が始まった時からの道です。その後、須賀台の住宅開発が終わった後、昭和55年に市道として指定されました。(参考資料)街道、道路の開通年は大阪府、富田林市のご協力を頂きました

※1 中高野街道②の起点は守口(大阪)の説もあります
 ※2 中高野街道②の点線部分は現在、住宅となっています
 ※3 錦織新田の開墾時の旧道